



LIBERAL DEMOCRATIC PARTY KATSUSHIKA CITY ASSEMBLY

自由民主党

会報

令和2年
2020
4月号

■発行/葛飾区議会自由民主党議員団 (葛飾区立石 5-13-1)
■発行責任者/筒井たかひさ ※ご意見・ご要望をお待ちしております。

ホームページもチェック!

Q 葛飾区議会 自由民主党議員団

検索



令和2年第一回定例会が開催されました

代表質問



葛飾区議会議員
筒井 たかひさ

◆当初予算案及び今後の財政運営について

問 予算規模が増大する要因について、これらを支える財源はどのように対応したか。

答 国・都補助金などの特定財源の確保はもとより、投資的経費には特定目的基金から繰入を行うとともに、特別区債を発行してきた。

他 財政調整基金繰入の経緯、繰入の判断、財政対応力の強化など3問

◆契約制度について

問 元請事業者が公共工事を受注し、下請業者との関係の中で施工しやすい環境をさらに推進するために、今後区はどのような対策を講じるのか。

答 事業者が受注しやすい環境整備を図るとともに、より良い労働環境の確立と労働の対価を含めた賃金が確実に履行され、業者間として良好な関係が継続できるよう「公契約条例の制定」についても積極的に検討していく。

他 不調不落の対策について、入札参加資格の見直しなど2問

◆総合庁舎の建て替えについて

問 再開発事業の竣工の時期や総合庁舎以外の公共施設の整備など、多くの課題を踏まえ、駅前に移転する庁舎機能について改めて再検証すべきではないか。

答 これまで検討してきた利便性の高い庁舎を基本としながら、少子高齢化や今後のICTの進展などの社会状況の変化も踏まえて、状況に応じた見直しを検討していく。

他 現庁舎敷地の活用方針の策定について

◆区が保有する資産の有効活用について

問 従来の用途を終えた土地や施設の活用にあたって、全庁で情報を集約し区全体での優先順位や公共施設以外の活用も含めた検討を進めていくべきではないか。

答 公共施設の再編や複合化が一層進展していくことを踏まえ、民間への貸付や売却なども含め、より有効な活用を図っていく。

他 道路・公園等の更新や維持管理の効率化、区保有の資産の積極的活用など2問

◆スポーツの振興について

問 スタジアムの整備について昨年の代表質問でも質問しているが、現状でのスタジアム整備についての区の見解を伺う。

答 現在国内にある既存のスタジアムの立地や運営状況、収支状況などの調査結果も踏まえ、今後本区におけるスタジアム建設について具体的な検討を進めていく。

他 「見る・応援する」という観点を重視した施設整備の推進、区民スポーツの振興など2問

一般質問



葛飾区議会議員
秋本 とよえ

◆ 誰でもが暮らしやすいまちづくりについて

問 基本構想の中にユニバーサルデザインをどう位置づけるか、また公共施設の改修改築においてどう取り組むのかの考えを伺う。

答 障害のある方が安心して移動でき施設を利用できるようにバリアフリー化を進める。あらゆる場面で制限を受けることがないように、快適で美しいまちづくりを進めていく。

◆ 障害者の地域生活支援と就労支援について

問 精神障害者の一時入浴サービスなど、新たなレスパイト対応事業が必要と思うが区の考えを伺う。

答 今後建て替えを計画している地域活動支援センターもあるので、新たなレスパイト対応事業の一つとして入浴施設の設置について働きかけていく。

問 精神障害者に関する専門知識を持った職員を配置するべきと思うが区の考えを伺う。

答 令和2年度は精神保健選任の精神保健福祉士を保険センターに配置し精神障害者への多職種によるアウトリーチを実施していく。

◆ 子育て支援について

問 令和3年度には葛飾赤十字産院の新病院が開設される。宿泊ケアについて、開院される葛飾赤十字産院への配置について区の考えを伺う。

答 実施に向けた話し合いを今月から始めたところであり、今後具体的に検討していく。

問 産婦歯科検診の拡充について区の見解を伺う。

答 妊婦歯科検診等の状況や他区の産婦歯科検診の実施状況を参考にしながら、産婦歯科検診の拡充に努めていく。

◆ 亀有の観光事業について

問 これまで整備した資源を活用しながら、さらに回遊性の高い「こち亀」観光の街として頂きたい。

答 「こち亀」観光の拠点となる施設の整備を、ぜひ進めていただきたい。区の考えを伺う。

問 下水道マンホールの蓋に「こち亀」のキャラクターデザインを施したマンホールを亀有地域に設置し回遊性を高め、観光拠点として「葛飾柴又寅さん記念館」のような息の長い愛される拠点を検討していく。

他 障害者の雇用促進について

一般質問



葛飾区議会議員
梅沢 とよかず

◆ SDGs について

問 区が実施する様々な施策の状況や目標をより区民に理解してもらうことがSDGsの推進には不可欠と思うが、どのように取り組むのか伺う。

答 基本計画や前期実施計画における各事業とSDGsとの関係性がわかりやすく伝わるようSDGsの各目標のアイコンを表示するなど表示方法について検討し、区のSDGsへの取組みを周知していく。

他 職員の理解促進と推進体制の整備 など

◆ Society 5.0 への取り組みについて

問 デジタル技術活用のために、庁内体制の整備や職員への啓発研修などを一層強化すべきと思うが、見解を伺う。

答 区民サービスの更なる向上と業務効率化に向け、庁内体制を整備し、全職員がデジタル技術に係る知識を習得できるよう、全庁的な体制を進めていく。

問 ドローンの活用状況及び今後の活用方針を伺う。

答 総合防災訓練の空撮をしており、民間事業者と災害時等における支援活動に関する協定を締結した。今後も災害対応や設備点検、観光振興等様々な場面でのドローン活用の検討を進める。 **他** 5G活用など

◆ 農地保全について

問 農地を保全するために、特定生産緑地への移行に向けてどのような取り組みを進めていくのか。

答 本年4月から申請受付を開始し、同時に説明会・相談会を行う。また、区・農業委員会・JA東京スマイルと連携・協働して周知徹底に努める

他 農地面積推移など

◆ 夏休みにおける子どもの見守りについて

問 児童の見守り体制の充実に向けて今後どのような取り組みをしていくのか。

答 サポーターと事業者が連携して児童の見守りを行い、委託の活用等により、三季休業日の実施や対象学年の拡大など、見守り体制の充実に努める。 **他** 区の現状認識

◆ 立石駅周辺の街づくり

問 区が描いている「エリアマネジメント」の姿を伺う。

答 エリアマネジメントは持続可能なまちづくりの実現に向け、地域自らが主体的に取り組む仕組みである。地元の皆様と十分な協議しながら検討を深め、将来に渡って持続可能なまちを目指していく。 **他** 事業の現状と見直し

立石駅ホームドア設置 など

予算審査特別委員会総括質疑



葛飾区議会議員 伊藤 よしりのり

◆契約について

問 現在の施工能力審査型総合評価入札はすでに試行として開始してから10年以上経過している。どのように評価しているのか問う。

答 入札価格が最も低い業者でなくても施工能力評価点が高いことを理由に落札者となる、いわゆる逆転も年間2割程度発生している。

問 施工能力審査型総合評価方式を実施するにあたり本区独自の評価項目を加えたり、評価項目の変更は可能なのか問う。

答 評価項目を変更することは可能である。

問 工事契約の着実な履行のためには工事契約約款についてスライド条約等を受託事業者に負担を求め過ぎないよう改めるべきではないか。

答 スライド額の算出では、これまで残工工事費の1.5%を受注者の負担としていたが、これを1%として受注者負担の範囲を縮小した。

【まとめ】今後も事業者の方が不利益になる事がないよう適切な改訂をお願いしたいと思う。本区には高い技術力や経験をもつ事業者が多いが、会社の規模が小さいためになかなか大規模案件が受注できず奮闘されている方々もおられる。各業界と意見交換会を行いながら、入札制度について工夫して頂きたい。

◆児童相談所の設置について

問 本区が目指す児童相談所にはどのような特徴があり、どのような重点を置くのか問う。

答 既存の子ども総合センターは残置し、児童相談所・一時保護所は別の組織として新たに設置していく。

問 建設予定地を最適地であると判断した理由と事業用定借として行う事をどう評価しているのか。

答 区内において都・区の希望に沿った用地の確保は非常に困難である。本用地のような立地条件、土地の形、周辺環境に恵まれたものが出ることは大変珍しく、この好機を逃すことが無いようにと踏み出したものである。

【まとめ】令和4年度からは全国的にCDR、チャイルドドレスレビューが始まり幼くして亡くなられた子供たちの死因究明の為の検証が行われ、児童虐待への取り組みはこれまでになく新しい次元に入っていく。残された時間はそれほど多くないため、これまで進めてきた検討の経緯を踏まえ、着実に進めて頂きたい。

他 特別養護老人ホーム建替え支援について、妊産婦移動支援について、学校改革について など

予算審査特別委員会総括質疑



葛飾区議会議員 峯岸 良至

◆新型コロナウイルス対応について

問 新型コロナウイルスが区内産業に与える影響は計り知れない。国や都の支援策に頼るだけでなく、区独自の緊急融資支援を早急に示すべきではないか。

答 葛飾区としても国や都の施策を注視しつつ、区内中小企業や区民の方々の話を伺いながら中小企業向けの新型コロナウイルス対策の融資を実施していく。

◆障害者施策の推進について

問 平成30年度に「パラリンしょうぶ」が開設され、重度の知的障害者の生活支援型入所施設への受け入れが可能となったことは大変意義のあることであるが、重度障害者対応型グループホームの整備が必要と考える。地域密着で広く様々な障害種別に対応した相談体制づくりについて、区は今後どのように整備していくのか。

答 引き続き実効性のある新たな整備支援策を検討していく。今後は精神障害を含めた身体障害、知的障害の三障害に対応できる相談支援事業所

を増やすことで、様々な障害に対応できる体制を整えていく。

◆マンション条例制定について

問 ワンルームマンション建設の際には地域からの心配があることもしばしばである。23区の中でもワンルームマンションの建設に関し条例を定め一定の規制を課しているところもある。本区において良質なマンション建設を進めるための条例制定を検討してはどうか。

答 単にこれまでのようなワンルームの規制ではなく将来のストック、財産として誘導できるようなものが必要と考える。来年度策定する住宅基本計画の中で目指すべき方向性を示し条例化を進めていく。

◆イングリッシュキャンプと海外派遣事業について

問 イングリッシュキャンプは、生徒一人あたりに係る経費は約7万円であり海外派遣事業については一人当たり約55万円であり、一人当たりでは8倍近く違うことになる。区立学校で実施する事業において一人当たり55万円というのは参加・不参加の生徒の間で不均衡が大きすぎ、実施の仕方を再度検討すべきではないか。

答 令和2年度より、イングリッシュキャンプは参加人数を100人に拡大する。海外派遣人数の拡大については、イングリッシュキャンプの参加人数を増やした効果について分析し、検証した上で、総合的に判断していく。

他 旧学校のあり方について、かつしかふれあいRUNフェスタについて など

予算審査特別委員会での 自民党からの要望

予算審査特別委員会は4つの分科会に分かれ審査いたします。

第1分科会は議会費、総務費、産業経済費、職員費を、第2分科会は福祉費、衛生費を、第3分科会は環境費、都市整備費を、第4分科会は教育費、公債費、諸支出金、及び各特別会計を審査しました。以下に自民党からの要望の一部を掲載致します。総務管理費では、基金の運用・実績を評価し、総合庁舎の整備が区民第一の目線で進められるよう求めました。福祉費では、社会的需要が高まる成年後見制度の利用を促進するための取組み、私立幼稚園運営費助成では私立幼稚園にも保育所同等の人材確保を求めました。衛生費では不測の事態に備えての医薬品・衛生用品等備蓄品管理の徹底及び高齢者施設へのマスクの提供を要望しました。

環境費ではCO2削減に向け公共施設の熱効率を上げる工夫をすべきであること、リサイクルゴミ減量費では集団回収団体への適切な支援、都市整備管理費では空き家を町会会館として活用する検討、都市マスタープラン改定骨子案の更なる将来を見据えた作成、金町駅周辺の人口増に備えた主要道路の拡幅や駅北口改札口の改良等を強く要望しました。教育総務費では、東京理科大学との連携を密に、数学やプログラミングに長けた子どもを育成するよう求めました。社会教育費では、柴又の文化的景観の認定に影響が出ることがないように道路拡幅が行われるよう調整すること、図書館システムに無線LAN環境を導入しテレワークなどに広く活用されるよう環境整備することを求めました。



第1分科会

筒井委員、秋本委員、池田委員、峯岸委員、工藤委員



第2分科会

梅沢委員、秋本委員、秋家委員、筒井委員、伊藤委員



第3分科会

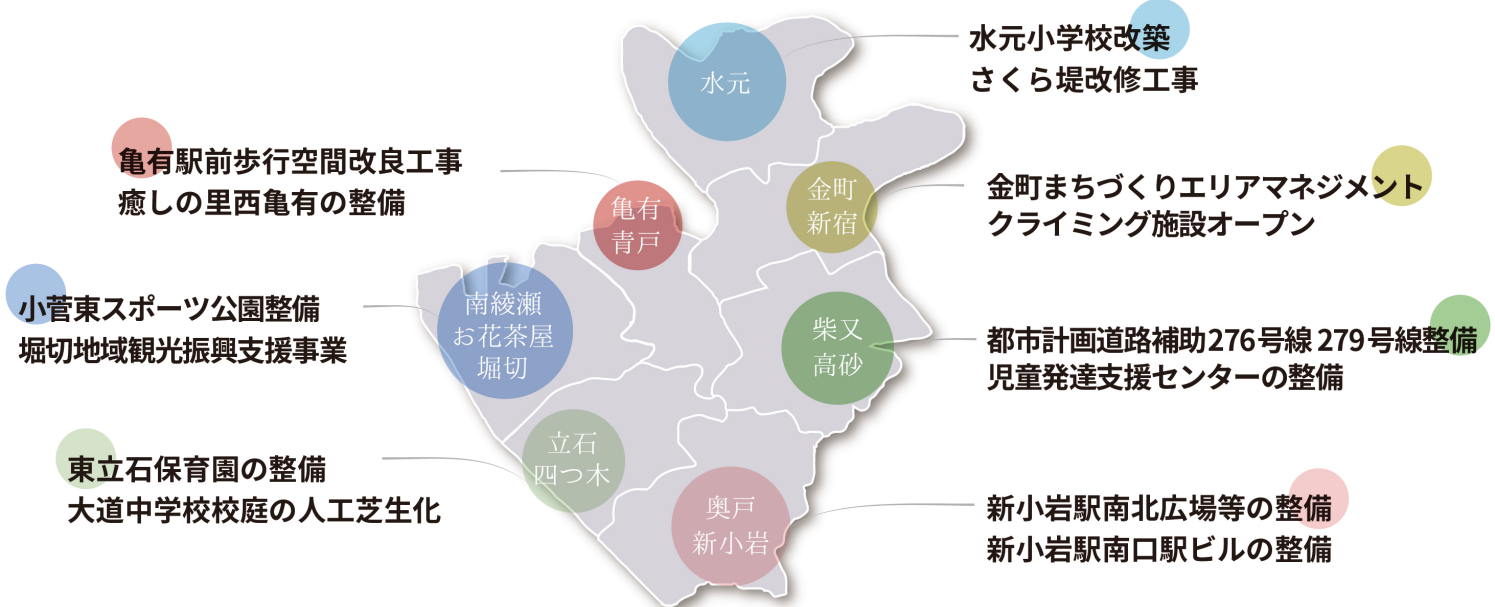
梅沢委員、伊藤委員、安西委員、峯岸委員、高木委員



第4分科会

高木委員、安西委員、秋家委員、池田委員、工藤委員

葛飾区全域に、自民党の予算要望90項目が実現化いたしました



上記の他にも、

- * 消防団に対する助成金の拡充
 - * 八剱橋工事で細田橋調査
 - * 地域力向上と自治町会加入の促進
 - * こち亀事業
 - * 保育士等の人材確保支援事業
 - * 長寿歯科健診の年齢拡大
 - * 小中学校学習センターの充実
 - * 空き家対策の推進
- など全部で90項目を令和2年度予算に盛り込むことができました。これからも区内の課題解決に向けて全力で取り組んでまいります。

自由民主党

お気軽にご意見をお寄せください！

<https://jimin-katsushika.com>

